

新人・中途入職者の

アンプロフェッショナルな行動

「これってどう

には、どうはたらきかけたらいいのか？

実践編

2号連続
特集



〔執筆〕宮田靖志 みやた・やすし

愛知医科大学 地域総合診療医学寄附講座 教授

1988年自治医科大学卒業。愛媛県で12年間地域医療に従事後、札幌医科大学、北海道大学病院、名古屋医療センターなどを経て現職。総合診療医・地域医療医として患者さんのあらゆる健康問題に広く対応することを楽しむ。著書に『君はどんな看護師になるのだろうか』（医学書院、共著）ほか多数。

医療現場におけるプロフェッショナリズムは看護師の重要な資質ですが、現実にはその基準から外れるアンプロフェッショナルな行動(以下、アンプロ行動)が問題となる場合があります。これらの行動は、患者ケアの質や医療チームの信頼性に影響を与えるだけでなく、医療従事者自身のキャリアにも悪影響を及ぼす可能性があります。

このような行動がみられる場合、どのようにかわっていけばよいのか、プロフェッショナリズムを身につけてもらうにはどうしたらよいのかを、前編・後編に分けてご紹介します。後編では、アンプロ行動への対応法などの実践編を解説します。

CONTENTS

PART4	学修者との話し合いによるアンプロ行動への対応方法	P.80
PART5	アンプロ行動の探索と理解	P.81
PART6	アンプロ行動をプロファイル(分類)する	P.83
PART7	対応が最も難しい「否認行動」をとる人への対応	P.85
PART8	アンプロ行動への矯正プログラム	P.87
PART9	アンプロ行動対応の一般的原則って？	P.88
PART10	Z世代の看護師の特徴とアンプロ行動への対応方法	P.90
最後に	教育をする人、先輩としてかわる人へ	P.92

「遅刻する」「フィードバックを避ける」
「規則を守らない」…など

なんだろう？」

▼ アンプロフェッショナルな行動とは？ ▼

① 責任感の欠如とみなされる行動

- 業務の引き継ぎが不十分で、患者の重要な情報が共有されない。
- 自分の業務範囲を正確に理解せず、手順を守らない行動をとる。
- ミスを隠したり、自己の責任を回避したりする態度をとる。

② コミュニケーション不足による問題

- 医療チーム内での情報共有が不十分で、患者ケアに齟齬が生じる。
- 患者やその家族への説明が曖昧で、不安を招く。
- 他職種との連携がとれず、他職種の助言を無視する態度をとる。

③ 倫理的判断の不足

- 患者のプライバシーを軽視し、不用意に情報を他者に漏らす。
- 患者の意思決定を軽視し、医療従事者の価値観を押し付ける。
- ケアの優先順位を適切に判断せず、重要なケアを後回しにする。

④ 時間管理の問題

- 業務の優先順位が適切でなく、重要なタスクが期限内に完了しない。
- シフトへの遅刻や欠勤が多く、同僚に負担をかける。

⑤ プロフェッショナルな態度の欠如

- 職場での服装や言葉遣いが適切でない。
- 患者や同僚に対する態度が感情的で、誠実さを欠く行動をする。
- 感情のコントロールが不十分で、ストレスにより患者や同僚に不適切な態度をとる。

「プロフェッショナリズムとは？」「アンプロ行動の背景にあるもの」などの基礎編は4月号で解説しています！